

科目	単位	学 科	コ ー ス	教 科 書
家庭基礎	2	普通	普通	家庭基礎－自立・共生・創造－ (東京書籍)
1. 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活・衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得する。 2. 学習した知識や技術を活かし、家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育成する 3. 家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。				

月	教科書の単元・章・項 補助教材等	学習内容及び到達目標	評価方法	評価の観点
4	「家庭基礎」を 学ぶにあたって 第6章 食生活をつくる	何を、なぜ、どのように学ぶかを知る。 食生活全般についての知識を習得する。 実習（箸の扱い）	レポート提出	箸の持ち方や作法が理解でき、技術が習得できたか。
5	第6章 食生活をつくる	視聴覚学習「テーブルマナー」	レポート提出	食事作法についての知識が身についたか。
6	第7章 衣生活をつくる	被服のさまざまな役割を知り、実生活に活かす。 実習（採寸）	第2回定期考査	採寸の実習を通し、基礎的技術が習得できたか。
7	第7章 衣生活をつくる	布を使った生活の工夫を知り、将来に生かす。 実習（基礎手縫い）	作品提出	手縫いの実習を通し、基礎的技術が習得できたか。
9	第2章 人生をつくる 第3章 子どもと共に育つ	各ライフステージの特徴と課題を理解する。 家族・家庭について考える。 子どもの育つ力と発達段階を知る。 実習（絵本製作） 視聴覚学習「赤ちゃんこのすばらしき命」 視聴覚学習「お父さんへ～赤ちゃんからのメッセージ」	作品提出	今後の人生をいかに生きるか、考えることをしたか。 将来育児に関わることを前提に多くの知識を得、子どもに対して理解を深めようとしているか。
10	第8章 住生活をつくる	住居の機能や間取りの基礎知識を学ぶ。	プリント提出	住居とそれを取り巻く環境についての知識が身につき、応用できるか。
11	第9章 経済生活を営む	経済的自立と消費行動について学び、消費者として適切な判断ができるようにする。 視聴覚学習「悪質商法」	第4回定期考査	将来家計を管理するための知識が身についたか。 自立した消費者としての心構えができたか。
12	第4章 超高齢社会を共に生きる	高齢者の現状と課題を理解する。		将来、介護に関わることを前提に多くの知識を得、理解を深めようとしているか。
1	第5章 共に生き、共に支える	一生を通した福祉や社会的支援の必要性を知る。ノーマライゼーションの理念を理解する。	プリント	ノーマライゼーションの理念を理解することができたか。
2	第6章 食生活をつくる	日常の食生活を振りかえる。	プリント提出 第5回定期考査	日常の食生活を振りかえることができたか。
3	第6章 食生活をつくる	基本的な調理技術を習得する。 実習（基本調理1） 実習（基本調理2）		今後の身体の健康について留意できる応用力が身についたか。